



全校児童とともに受賞を喜ぶ前児童会執行部（写真前列）

# 大沢小学校が日本一

## 全国小・中学校・PTA新聞コンクール 内閣総理大臣賞に輝く

第59回全国小・中学校・PTA新聞コンクール（毎日新聞社など主催）の入賞校が発表され、小学校・学校新聞の部で大沢小学校の「海よ光れ」が全国1位となる内閣総理大臣賞を受賞しました。「海よ光れ」は児童会執行部が発行する月刊の学校新聞で、同コンクール4年連続の入賞にして初めての内閣総理大臣賞となります。受賞は2月に発行した第64号の1面で報告、地域の住民にも配り、134年の校史でも最大級の快挙を地区を挙げて喜びました。

3月6日に東京の毎日新聞本社で行われた表彰式には、前児童会執行部の児童9人が出席。代表の前会長・前山悠樹君（現山田中1年）と前副会長・大川莉穂さん（同）に表彰状とカップが手渡されました。

大沢小学校の学校新聞の創刊は平成16年9月。新聞名は全校から募集し、毎年行われている同名の全校表現劇から名づけら



3月6日に行われた表彰式で賞状とカップを受け取る前山悠樹君と大川莉穂さん



前児童会長  
前山悠樹君

### みんなで頑張った成果 先生方に感謝伝えたい

コンクールのことは意識していなかったのですが、学校生活が楽しくなるよう執行部全員で頑張ってきた努力が認められ、みんなで喜び合いました。歴代の先輩方や、これまで指導いただいた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。





▲新年度を新たな気持ちで迎えようと呼び掛ける第55号（4月30日発行）。お世話になっている地域の方へ感謝の気持ちを表す記事も掲載。



①3月から新執行部による新聞づくりがスタート②魅力ある紙面にインタビューは欠かせません③それぞれが役割を分担し原稿を作成します

れました。以来「学校生活に役立つ新聞」を目指し、ほぼ毎月発行を続けてきました。児童会執行部は放課後のほとんどを新聞づくりに費やします。魅力ある紙面づくりのため毎号アンケートを実施。学校の実態を把握するほか、全校参加型の新聞にすることで全校児童に読んでもらえる紙面を目指してきました。また、積極的に足を運んで取材することも欠かさず、共同募金が何に使われているか、社会福祉協議会に向いて話も聞いたこともありました。前児童会長の前山君は「どのような学校を目指すか、全校で

取り組むべき問題は何かをみんなで話し合いながら取り組んできました。特にベルマーク集めについて呼び掛けを続けたところ、早く目標を達成し、備品が学校に届いたことが一番うれしかったです」と成果を喜びます。3月からは新しい執行部での新聞づくりがスタート。新児童会長の中村奈緒さん（現6年）は「元気で明るい学校を目指し、楽しんで読んでもらえる新聞を作りたい」と意欲に燃えます。これまでの努力が実りついに日本一に輝いた大沢小学校の学校新聞づくりは、より良い学校を目指し、これからも続きます。

### 素直な気持ちを表現し 子供たちが大きく成長

「海よ光れ」は、子供たちが学校を思う素直な気持ちで溢れています。明るく楽しい学校づくりを目指して新聞を作りながら、自主性や社会性、責任感など多くを身に付けてきた子供たち。その成果を糧に、さらに成長してくれることを願っています。



6年間新聞制作を指導  
山根一志教諭



▲第58号（7月24日発行）では、ベルマーク集めや各種行事への積極的な取り組みなどを呼び掛けました。